

雜報

●會員動靜

依願免本官並兼官

岡山醫科大學教授兼岡山醫科大學附屬醫學專門部教授

廣瀨耕一

(九月二十三日)

(各通)

陸軍一等軍醫 藤本友之進

陸軍一等軍醫 遠山久大

陸軍一等軍醫 下瀨政三

陸軍二等軍醫 正木豐

賜一等給

陸軍一等軍醫 白玖壽雄

陸軍一等軍醫 九川千基

(各通)

陸軍一等軍醫 山中茂

陸軍一等軍醫 大內健太郎

陸軍一等軍醫 甲斐義長

賜二等給

(九月二十二日)

敘勳六等授瑞寶章

正六位 赤岩八郎

(九月二十六日)

敘從五位

正六位 赤岩八郎

海軍軍醫中尉 伊藤慎一

第七驅逐隊軍醫長心得被免大湊防備隊軍醫長心得兼分隊長心得被仰付

大湊防備隊軍醫長心得兼分隊長心得海軍軍醫中尉 伊藤慎一

兼補大湊要港部附

(九月三十日)

敘從四位

正五位勳五等 吉田坦藏

(十月十日)

陸軍一等軍醫 松原愛次郎

補步兵第三十六聯隊附

陸軍一等軍醫 中田正景

步兵第六十九聯隊附被免姫路衛戍病院附被仰付

(十月十二日)

臺灣總督府醫學專門學校教授 久保信之

三級俸下賜

(九月三十日)

正七位 武井良一

(各通)

正七位勳六等 藤井真澄

正七位勳六等 藤本友之進

敘從六位

(十月二十日)

○伊藤幸憲君 豫て渡米中の同君は本年二月ハーバート大學を引揚げ獨、佛諸國を旅行し去六月より倫敦大學外科教室に於て研究に従事されつゝあり因に通信宛は左記の如し

c/o Surgical Unit
 Medical School
 University College of London
 Gower Street
 London England.

○澁谷清君 曩日渡米せられたる同君は無事到着左記に於て醫業に従事せらる

771 Tuna St, Terminal
 Calif, U. S. A.

○田中文男君 今般耳鼻咽喉科學研究の爲め英、獨、佛國へ在留を命せられたる同君は十一月二十五日當地を出發し翌二十六日神戸出帆の日本郵船會社宮崎丸にて渡歐せらるゝ豫定なり

○藤森眞治、南川欣司、多田繁君 上記三君歐洲留學の爲め前記宮崎丸にて同日神戸港を出發せらるゝ筈なり

○赤木元藏君 は今般恩賜財團濟生會大阪府病院外科に勤務

せられたり

○濱本信雄君 は今般本縣上道郡西大寺町木畑醫院を辭し大阪市西區立賣堀南通四丁目緒方病院第二内科に勤務せられたり

○吉田良一君 は今般大阪市西區新町通三丁目緒方病院に勤務せられたり

○廣畑龍造君 は豫て臺灣總督府醫學專門學校より留學を命せられ京都帝國大學醫學部醫學化學教室に於て研究中なりしか先般同教室を辭し去月二十六日任地に着せられたり

○三谷盛國君 は豫て朝鮮總督府道慈惠醫院に勤務し居られしか今般其職を辭し福岡縣鞍手郡宮田村に轉住せられたり

○京極一久君 は豫て神戸市谷内科醫院に勤務し居られしか今回辭職廣島縣高田郡船佐村に歸郷せられたり

○中川武雄君 は今般臺灣屏東病院を辭し兵庫縣神崎郡川邊村に歸郷せられたり

○三木徳次君 曩に陸軍を辭せられたる同君は今般神奈川縣中郡平塚町字平塚に轉宿せられたり

○菅實君 は豫て但馬國生野嶺山醫局に勤務し居られしか今般佐賀縣小城郡東多久村三菱古賀山炭坑醫局に轉勤せられたり

○小川庄三君 は豫て當地東田町村田醫院に於て診療に從事し居られしか今般伊豆國下田町長田醫院に轉勤せられたり

○日下部求君 は昨年岡山醫學專門學校を卒業以來同附屬醫院婦人科に勤務し居られしか今般前項の小川君の後任として當市村田醫院に於て診療に從事せられたり

○喜多島健磨君 は今般尾道市久保町小川婦人科醫院に勤務せられたり

○吉田坦藏君 は多年臺灣總督府醫學專門學校教授及日本赤十字社臺灣支部醫院醫長として勤務し居られしか今般其職を辭し臺北市築地町一丁目以内科醫院を設立し診療に從事せられたり

○廣瀬耕一君 別項の如く岡山醫科大學教授を辭せられたる同君は今般當市二番町に於て開業し専ら内科患者の診療に從事せられたり

○山本泉平君 は今般本縣邑久郡朝日村に移轉開業せられたり

○河村鼎君 は今般下關市東南部町に移轉開業せられたり

○寺迫新次君 は今般廣島縣高田郡志屋村に轉居せられたり

○吉田功君 は今般福岡市外馬出寺中に轉居せられたり

○大口壽香君 は今般朝鮮慶尙南道進水村井農場に移轉開業せられたり

○田澤省三君 は今般北海道瀨棚郡真駒内に移轉せられたり

○山根文士君 は今般十勝國帶廣町西三條九丁目に移轉開業せられたり

○宮竹圭一郎君 は今般大阪市西區北堀江御池通四丁目に移轉開業せられたり

●解剖祭 岡山醫科大學にては本月二十七日午前十時より市内小橋町國清寺に於て解剖祭を施行せり定刻に至り一同着席するや僧侶の讀經あり次に藤田學長の祭文、學生、生徒總代内藤内藏之允君の祭文明讀あり、次に藤田學長、上坂、田村兩教授、學生、生徒總代及遺族の燒香ありて式を終り正午頃一同退散せり當日の來賓は岡山縣衛生課長、岡山東警察署長、岡山刑務所長及同看守長等なり